

電気料金メニュー約款
(IMPUL でんき 関西エリア)

2023 年 4 月 1 日改定



伊藤忠エネクスグループ

株式会社エネクスライフサービス

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第1条 | 適用 | 1 |
| 第2条 | 定義 | 1 |
| 第3条 | 料金メニュー約款の変更 | 1 |
| 第4条 | 契約種別 | 1 |
| 1. | IMPUL でんき関西 A | 1 |
| (1) | 適用条件 | 1 |
| (2) | 供給電気方式、供給電圧および周波数 | 1 |
| (3) | 最大需要容量 | 1 |
| (4) | 電気料金 | 1 |
| 2. | IMPUL でんき関西 B | 2 |
| (1) | 適用条件 | 2 |
| (2) | 供給電気方式、供給電圧および周波数 | 2 |
| (3) | 契約容量 | 2 |
| (4) | 電気料金 | 2 |
| 3. | IMPUL でんき関西低圧電力 | 3 |
| (1) | 適用条件 | 3 |
| (2) | 供給電気方式、供給電圧および周波数 | 3 |
| (3) | 契約電力 | 3 |
| (4) | 電気料金 | 4 |
| (5) | その他 | 4 |
| 第5条 | 電源構成に係る注記 | 4 |
| 第6条 | 料金の支払い方法等 | 5 |
| 附 | 則 | 6 |
| 別紙1 | 負荷設備の入力換算容量 | 7 |

第1条 適用

この電気料金メニュー約款（以下「料金メニュー約款」といいます。）は、当社の電気需給約款（以下「本約款」といいます。）にもとづき、電灯または小型機器もしくは動力をご使用のお客様まで関西電力株式会社の供給エリアへ電気を供給するときの料金その他の条件を定めたものです。なお、料金メニュー約款に定める最低料金、基本料金、電力量料金、割引額、燃料費調整額および再生可能エネルギー発電促進賦課金、請求書発送費用は、消費税および地方消費税相当額を含みます。

第2条 定義

以下の用語は、料金メニュー約款において、それぞれ以下の意味で使用し、その他の用語については、本約款に規定するところによります。

1. 夏季
毎年7月1日から9月30日までの期間をいいます。
2. その他季
毎年10月1日から翌年の6月30日までの期間をいいます。
3. FIT 電源
再生可能エネルギーの固定買取制度の認定を受けた発電設備をいいます。
4. 非化石証書
非化石電源により発電された電気から、環境価値を分離し証書にしたものをいいます。
5. 卸電力取引所
日本卸電力取引所が運営する電力の現物取引、先渡し取引などを仲介する市場をいいます。

第3条 料金メニュー約款の変更

1. 当社は、料金メニュー約款を変更する場合には、本約款第3条（電気需給約款等の変更）を適用します。この場合、本約款第3条（電気需給約款等の変更）において、「本約款」を「料金メニュー約款」と読み替えて適用します。
2. 消費税法および地方消費税法の改正等により、消費税および地方消費税の税率が変更された場合には、当社は、変更された税率にもとづき、料金メニュー約款に定める電気料金を変更いたします。この場合、契約期間中であっても、電気料金は、変更後の料金メニュー約款によります。

第4条 契約種別

1. IMPUL でんき関西 A
 - (1) 適用条件
電灯または小型機器を使用する需要で、使用する最大容量（以下「最大需要容量」といいます。）が6キロボルトアンペア未満であるものに適用します。
 - (2) 供給電気方式、供給電圧および周波数
供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、標準周波数60ヘルツといたします。
 - (3) 最大需要容量
最大需要容量が6キロボルトアンペア未満であることの決定は、負荷の実情に応じてお客様と当社との協議によって行います。
 - (4) 電気料金
1月の料金は、以下に定める最低料金、電力量料金および本約款別紙3（再生可能エネルギー発電促進賦課金）4.1によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙4（燃料費調整）1.(1)によって算定された平均燃料価格が本約款別紙4（燃料費調整）別表（燃料費調整単価算出係数等）に記載のX円（以下単に「X円」といいます。）を下回る場合は、本約款別紙4（燃料費調

整) 3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙4 (燃料費調整) 1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を上回る場合は、本約款別紙4 (燃料費調整) 3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 料 金

最低料金及び電力量料金は、その1月の使用電力量によって算定いたします。

| | | |
|------------|---|------------|
| 最低料金 | 1 契約につき最初の 15 キロワットまで一律 | 433 円 41 銭 |
| 電力量 料 金 | 15 キロワット時をこえ 120 キロワット時までの 1 キロワット時につき | 20 円 31 銭 |
| | 120 キロワット時をこえ 300 キロワット時までの 1 キロワット時につき | 25 円 71 銭 |
| | 上記超過 1 キロワット時につき | 28 円 70 銭 |

2. IMPUL でんき関西 B

(1) 適用条件

電灯または小型機器を使用する需要で、契約容量が6キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であるものに適用します。

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。また、周波数は、標準周波数60ヘルツといたします。

(3) 契約容量

契約容量は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、以下により算定された値とします。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定します。ただし、他の小売電気事業者から当社へ契約を切り替える場合は、原則として、他の小売電気事業者との契約終了時点の契約容量の値を引き継ぐものとします。

(a) 供給電気方式および供給電圧が交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流 (アンペア) × 電圧 (ボルト) × 1/1000

なお、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合の電圧は、200 ボルトとします。

(b) 供給電気方式および供給電圧が交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流 (アンペア) × 電圧 (ボルト) × 1.732 × 1/1000

(4) 電気料金

1月の料金は、以下に定める基本料金、電力量料金および本約款別紙3 (再生可能エネルギー発電促進賦課金) 4.によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計とします。ただし、電力量料金は、本約款別紙4 (燃料費調整) 1.(1)によって算定された平均燃料価格が本約款別紙4 (燃料費調整) 別表 (燃料費調整単価算出係数等) に記載のX円を下回る場合は、本約款別紙4 (燃料費調整) 3.によって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、本約款別紙4 (燃料費調整) 1.(1)によって算定された平均燃料価格がX円を上回る場合は、本約款別紙4 (燃料費調整) 3.によって算定された燃料費調整額を加えたものとします。

(a) 基本料金

基本料金は、本約款第 13 条 (料金の算定および算定期間) に定める算定期間 1 月につき次のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額といたします。

| | |
|---------------------|------------|
| 契約容量 1 キロボルトアンペアにつき | 416 円 94 銭 |
|---------------------|------------|

(b) 電力量料金

電力量料金は、その1月の使用電力量によって算定いたします。

| | |
|--|-----------|
| 120 キロワット時までの 1 キロワット時につき | 17 円 91 銭 |
| 120 キロワット時をこえ 300 キロワット時までの 1 キロワット時につき | 21 円 12 銭 |
| 上記超過 1 キロワット時につき | 23 円 63 銭 |

3. IMPUL でんき関西低圧電力

(1) 適用条件

動力を使用する需要で、次のいずれにも該当するものに適用いたします。

- (a) 契約電力が原則として 50 キロワット未満であること。
- (b) 1 需要場所において当社の電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのプランとあわせて契約する場合は、契約電流（この場合、10 アンペアを 1 キロワットとみなします。）または契約容量（この場合、1 キロボルトアンペアを 1 キロワットとみなします。）と契約電力との合計が 50 キロワット未満であること。[ただし、1 需要場所において当社の電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのプランとあわせて契約する場合で、お客さまが希望され、かつ、一般送配電事業者が適当と認めたときは、(a)に該当し、かつ、(b)の契約電流または契約容量と契約電力との合計が 50 キロワット以上であるものについても適用することがあります。この場合、一般送配電事業者は、お客さまの土地または建物に変圧器等の供給設備を施設することがあります。]

(2) 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトといたします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトとすることがあります。また、周波数は、標準周波数 60 ヘルツといたします。

(3) 契約電力

- (a) 契約電力は、契約負荷設備の各入力（出力で表示されている場合等は、別紙 1（負荷設備の入力換算容量）によって換算するものとします。）についてそれぞれ次の(イ)の係数を乗じてえた値の合計に(ロ)の係数を乗じてえた値とします。[ただし、電気機器の試験用に電気を使用される場合等特別の事情がある場合は、その回路において使用される最大電流を制限できるしゃ断器その他の適当な装置をお客さまに施設していただき、その容量を当該回路において使用される契約負荷設備の入力とみなします。この場合、その容量は下記(b)に準じて算定し、(ロ)の係数を乗じないものといたします。]

(イ) 契約負荷設備のうち

| | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 最大の入力 のものから | 最初の 2 台の入力につき | 100 パーセント |
| | 次の 2 台の入力につき | 95 パーセント |
| | 上記以外のもの入力につき | 90 パーセント |

(ロ) (イ)によってえた値の合計のうち

| | |
|-------------------|-----------|
| 最初の 6 キロワットにつき | 100 パーセント |
| 次の 14 キロワットにつき | 90 パーセント |
| 次の 30 キロワットにつき | 80 パーセント |
| 50 キロワットをこえる部分につき | 70 パーセント |

- (b) お客さまが契約主開閉器により契約電力を定めることを希望される場合には、契約電力は、契約主開閉器の定格電流にもとづき、以下により算定された値とします。この場合、あらかじめ契約主開閉器を設定します。なお、一般送配電事業者は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認いたします。

(イ) 供給電気方式および供給電圧が交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流（アンペア）×電圧（ボルト）×1/1000

なお、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合の電圧は、200

附 則

この料金メニュー約款の実施時期

この料金メニュー約款は、2023年4月1日より実施します。

制定・改定履歴

2021年8月1日制定

2021年10月1日改定

2023年4月1日改定

別紙1 負荷設備の入力換算容量

1. 照明用電気機器

照明用電気機器の換算容量は、次の(1)、(2)、(3)および(4)によります。

(1) けい光灯

| | 換 算 容 量 | |
|------|------------------------------|------------------------------|
| | 入力 (ボルトアンペア) | 入力 (ワット) |
| 高力率型 | 管灯の定格消費電力 (ワット) ×150パーセント | 管灯の定格消費電力 (ワット) ×125パーセント |
| 低力率型 | 管灯の定格消費電力 (ワット) ×200パーセント | |

(2) ネオン管灯

| 2次電圧 (ボルト) | 換 算 容 量 | | |
|------------|--------------|------|----------|
| | 入力 (ボルトアンペア) | | 入力 (ワット) |
| | 高力率型 | 低力率型 | |
| 3,000 | 30 | 80 | 30 |
| 6,000 | 60 | 150 | 60 |
| 9,000 | 100 | 220 | 100 |
| 12,000 | 140 | 300 | 140 |
| 15,000 | 180 | 350 | 180 |

(3) スリムラインランプ

| 管の長さ (ミリメートル) | 換 算 容 量 | |
|---------------|--------------|----------|
| | 入力 (ボルトアンペア) | 入力 (ワット) |
| 999以下 | 40 | 40 |
| 1,149以下 | 60 | 60 |
| 1,556以下 | 70 | 70 |
| 1,759以下 | 80 | 80 |
| 2,368以下 | 100 | 100 |

(4) 水 銀 灯

| 出力 (ワット) | 換 算 容 量 | | |
|----------|--------------|-------|----------|
| | 入力 (ボルトアンペア) | | 入力 (ワット) |
| | 高力率型 | 低力率型 | |
| 40以下 | 60 | 130 | 50 |
| 60以下 | 80 | 170 | 70 |
| 80以下 | 100 | 190 | 90 |
| 100以下 | 150 | 200 | 130 |
| 125以下 | 160 | 290 | 145 |
| 200以下 | 250 | 400 | 230 |
| 250以下 | 300 | 500 | 270 |
| 300以下 | 350 | 550 | 325 |
| 400以下 | 500 | 750 | 435 |
| 700以下 | 800 | 1,200 | 735 |
| 1,000以下 | 1,200 | 1,750 | 1,005 |

2.誘導電動機

(1)単相誘導電動機

- a 出力が馬力表示の単相誘導電動機の換算容量（入力〔キロワット〕）は、換算率100.0パーセントを乗じたものといたします。
- b 出力がワット表示のものは、次のとおりといたします。

| 出力 (ワット) | 換 算 容 量 | | |
|----------|--------------|-------|-------------------------|
| | 入力 (ボルトアンペア) | | 入力 (ワット) |
| | 高力率型 | 低力率型 | |
| 35以下 | － | 160 | 出力 (ワット) ×133.0パーセント |
| 45以下 | － | 180 | |
| 65以下 | － | 230 | |
| 100以下 | 250 | 350 | |
| 200以下 | 400 | 550 | |
| 400以下 | 600 | 850 | |
| 550以下 | 900 | 1,200 | |
| 750以下 | 1,000 | 1,400 | |

(2) 3相誘導電動機

| 換 算 容 量 (入力〔キロワット〕) | | |
|---------------------|---|------------|
| 出力 (馬力) | × | 93.3パーセント |
| 出力 (キロワット) | × | 125.0パーセント |

3.レントゲン装置

レントゲン装置の換算容量は、次によります。

なお、レントゲン装置が2以上の装置種別を兼ねる場合は、いずれか大きい換算容量といたします。

| 装置種別（携帯型および移動型を含みます。） | 最高定格管電圧 (キロボルトピーク) | 管電流 (短時間定格電流) (ミアンペア) | 換算容量(入力) (キロボルトアンペア) |
|-------------------------|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 治療用装置 | | | 定格1次最大入力 (キロボルトアンペア)の値といたします。 |
| 診察用装置 | 95キロボルトピーク以下 | 20ミアンペア以下 | 1 |
| | | 20ミアンペア超過 30ミアンペア以下 | 1.5 |
| | | 30ミアンペア超過 50ミアンペア以下 | 2 |
| | | 50ミアンペア超過 100ミアンペア以下 | 3 |
| | | 100ミアンペア超過 200ミアンペア以下 | 4 |
| | | 200ミアンペア超過 300ミアンペア以下 | 5 |
| | | 300ミアンペア超過 500ミアンペア以下 | 7.5 |
| | | 500ミアンペア超過 1,000ミアンペア以下 | 10 |
| | 95キロボルトピーク超過 100キロボルトピーク以下 | 200ミアンペア以下 | 5 |
| | | 200ミアンペア超過 300ミアンペア以下 | 6 |
| | | 300ミアンペア超過 500ミアンペア以下 | 8 |
| | | 500ミアンペア超過 1,000ミアンペア以下 | 13.5 |
| | 100キロボルトピーク超過 125キロボルトピーク以下 | 500ミアンペア以下 | 9.5 |
| | | 500ミアンペア超過 1,000ミアンペア以下 | 16 |
| | 125キロボルトピーク超過 150キロボルトピーク以下 | 500ミアンペア以下 | 11 |
| 500ミアンペア超過 1,000ミアンペア以下 | | 19.5 | |
| 蓄電器放電式 診察用装置 | コンデンサ容量 0.75マイクロファラッド以下 | | 1 |
| | 0.75マイクロファラッド超過 1.5 マイクロファラッド以下 | | 2 |
| | 1.5 マイクロファラッド超過 3マイクロファラッド以下 | | 3 |

4.電気溶接機

電気溶接機の換算容量は、次の算式によって算定された値といたします。

(1) 日本工業規格に適合した機器（コンデンサ内蔵型を除きます）の場合
入力（キロワット）＝最大定格1次入力（キロボルトアンペア）

×70パーセント

(2) (1)以外の場合

入力（キロワット）＝実測した1次入力（キロボルトアンペア）

×70パーセント

5.そ の 他

(1) 1. 2. 3. および4. によることが不相当と認められる電気機器の換算容量（入力）は、
実測した値を基準としてお客さまと当社との協議によって定めます。ただし、特別の
事情がある場合は、定格消費電力を換算容量

（入力）とすることがあります。

(2) 動力と一体をなし、かつ、動力を使用するために直接必要であって欠く
ことができない表示灯は、動力とあわせて1契約負荷設備として契約負荷設備の容量
（入力）を算定いたします。

(3) 予備設備であることが明らかな電気機器については、契約負荷設備の容量の算定の対
象といたしません。